

| | | | | |
|-------------------------|---|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数) | こども家庭福祉 (2単位) | | 3. 科目番号 | JNGM2103 |
| 2. 授業担当教員 | 堀 聡子 | | | |
| 4. 授業形態 | 個別学習、グループ学習、発表、予習、ワークシート学習、復習 | | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | 急速に進む少子・高齢化社会の現状と社会の変容、それに対応したこどもや家庭に対する支援とこども・家庭福祉制度について、こども家庭福祉の原理、理念、こどもの権利保障、法制度、福祉・保健施策を学び、こども家庭に対する援助活動の基本を学習する。少子化と地域子育て支援、虐待、貧困家庭や外国籍のこどもと家族への対応などの現状と課題を理解し、特に施策分野について、地域や社会と関連した視点から問題が把握できるよう学ぶ。 | | | |
| 8. 学習目標 | 1. 児童家庭を支援する具体的な社会制度について理解し、説明が出来るようになる。 2. 児童家庭福祉の対象となる家庭と子どもの理解、及び関わり方を理解し、説明ができるようになる。 3. 児童家庭福祉への具体的な支援方法及び問題解決方法を理解し、実践で使用できるようになる。 | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 2回のミニレポートを課す予定である。ミニレポートでは、それまでの授業内容への理解を確認するとともに、家庭支援の具体例について、自分がどのような対応をすればよいかを考えてもらう。また、毎回授業の最後にリアクションペーパーを提出してもらう。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【参考書】 教科書は特に指定せず、授業の進行は配布資料を使用して行う。 参考書は、授業中に適宜紹介する。 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 児童家庭を支援する具体的な社会制度について理解し、説明が出来るか。 2. 児童家庭福祉の対象となる家庭、及び子どもの理解、及び関わり方を理解し、説明ができるか。 3. 児童家庭福祉への具体的な支援方法、及び問題解決方法を理解できるか。 ○評定の方法 日常の授業態度 (発表、質問は加点、欠席、私語等は減点) 45% レポート55% | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 子どもと家庭をめぐる状況は日々変化しています。子ども・子育てに関するニュース等に関心に向け、積極的に情報収集するよう心がけてください。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知する。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | | 学習課題 | |
| 第1回 | ガイダンス：授業の概要と進め方 保育におけるこども家庭福祉 | | 事前学習 | シラバスの確認 |
| | | | 事後学習 | 保育を実践する過程でこども家庭福祉の知識、考え方がなぜ重要なのかを理解し、説明できるようにする。 |
| 第2回 | 子どもの権利保障の歴史 | | 事前学習 | 子どもの権利保障の歴史の変遷について調べておく。 |
| | | | 事後学習 | 子どもの権利条約が採択されるまでの経緯を振り返る。 |
| 第3回 | 子どもの権利条約を学ぶ① 子どもの権利条約の4つの権利の柱、選択議定書 | | 事前学習 | 子どもの権利条約について調べておく。 |
| | | | 事後学習 | 子どもの権利条約の意義を理解し、子どもの権利を守るうえでの現代社会における課題を振り返る。 |
| 第4回 | 子どもの権利条約を学ぶ② 子どもの権利を守るためにできること | | 事前学習 | 子どもの権利条約の条文を読んでおく。 |
| | | | 事後学習 | 子どもの権利を守るために国・大人・子どもができることを整理する。 |
| 第5回 | 子育て「困難」のさまざま | | 事前学習 | 現代社会における子どものいる家庭が抱える問題を一つ調べてまとめておく。 |
| | | | 事後学習 | 子育てをしている家庭がどのような生活問題に直面しているのかを理解し、その原因がどのような背景のもとに起きているのかを説明できるようにする。 |
| 第6回 | 少子化と子育て支援 | | 事前学習 | 日本の子育て支援サービスを一つ調べてまとめておく。 |
| | | | 事後学習 | 日本の子育て支援の現状、課題について復習する。 |
| 第7回 | こども家庭福祉の制度と法体系① 児童福祉法を中心に | | 事前学習 | 児童福祉法について調べてまとめておく。 |
| | | | 事後学習 | 児童福祉6法の概略を理解し、その説明ができるようにする。 |
| 第8回 | こども家庭福祉の制度と法体系② こども家庭福祉に関する法律を調べてみよう！ | | 事前学習 | こども家庭福祉に関連する法制度の一つを調べまとめておく。 |
| | | | 事後学習 | こども家庭福祉に関連する法制度の種類とそれぞれの概要を復習する。 |

| | | | |
|------|-------------------------------------|------|---|
| 第9回 | こども家庭福祉の行政機関と実施機関 | 事前学習 | こども家庭福祉の行政機関と実施機関について調べておく。 |
| | | 事後学習 | こども家庭福祉の行政機関と実施機関の役割と機能について復習する。 |
| 第10回 | こども家庭福祉の現状と課題① 児童虐待とDVへの対応 | 事前学習 | 児童虐待とDVの現状を調べておく。 |
| | | 事後学習 | 児童虐待とDVの現状、支援のあり方について復習する。 |
| 第11回 | こども家庭福祉の現状と課題② ひとり親家庭への支援 | 事前学習 | ひとり親家庭のニーズを調べてまとめておく。 |
| | | 事後学習 | ひとり親家庭のニーズを理解し、支援のあり方を復習する。 |
| 第12回 | こども家庭福祉の現状と課題③ 子どもの貧困 | 事前学習 | 日本における子どもの貧困の現状を調べておく。 |
| | | 事後学習 | 子どもの貧困の現状と対応について復習する。 |
| 第13回 | こども家庭福祉の現状と課題④ 障がいのある子どもとその親への支援 | 事前学習 | 障がいのある子どもとその親のニーズを調べてまとめておく。 |
| | | 事後学習 | 障がいのある子どもとその親への支援のあり方を復習する。 |
| 第14回 | こども家庭福祉と実践 | 事前学習 | バイスティックの7原則について支援の際にどの要素が一番重要だと思うのかをまとめておく。 |
| | | 事後学習 | 事例から学んだことを踏まえ、保育士として必要な支援に関する要素を説明できるようにする。 |
| 第15回 | まとめ こども家庭福祉分野における保育士の役割 | 事前学習 | 保育実践を行う上で保育士として支援を行う際に大事にしなければならないと思ったこととその理由をまとめておく。 |
| | | 事後学習 | 保育実践を行う上で保育士として支援を行う際、大事にしたいことを説明できるようにする。 |